

あしたのあさひ

～P T アクションと校長室をつなぐ～

県立旭高等学校長 古谷康司

グリーンアップ&プリザードフラワー

今年度のグリーンアップは、C棟4階の教室内の壁をペンキで塗り直しました。多くの参加者のおかげで早く終わり、お昼は美味しいうどんを満喫できました。ボランティアに参加してくれた生徒と保護者の方の共同作業で、親子で輝く旭高校のP T アクションがまた実現できたと思います。今後も、生徒と保護者がコミュニケーションを図れる機会にぜひ参加してください。

学年委員会主催のイベントで、プリザードフラワー「クリスマスリーフ」をつくりました。文化祭から宣伝できたこともあり、定員いっぱいとなった企画は、楽しい時間と素敵な作品をお土産に終わることができました。私は自分の作品を校長室前に飾っています。

授業研究&大学接続改革研究

「考える力」の育成を目指し、考える授業の研究を継続しており、今年度は「主体的、対話的な深い学び」をテーマに、各教科で行われました。本校は従来からアクティブ・ラーニングの視点で授業に取り組んでいましたが、本テーマは、これからの時代に必要な力を身につけるために大切な学び方であり、生徒の主体性を引き出すものです。

現在中学3年生から変わる大学入試の職員勉強会を開き、在校生にも対応できるようにキャリア教育も改善に努めています。まずは、生徒の学ぶ意欲の向上を図ります。

人権講演会&校長講話

女子車椅子テニス日本代表としてリオ・パラリンピックに出場した二篠選手から、「絶対にあきらめない気持ち」を改めて教えていただきました。車椅子なしで生活できない自分を支えてくれた方々への感謝も忘れないと話していました。生徒は、頑張っている人の話を直接聞き、自分は何をすべきかを考えていると思います。講演後、話を良く聞いてくれたと、二篠選手から感謝されました。トップに立つ方はすごいです。

指定校推薦やAO入試など、早い時期に進路が決まる生徒対象に、油断して学びを中断してしまうと、大学中退や就職できてもすぐにやめてしまう人が多い。高校時代は自分を生かすことができる力をつける大切な時間であり、最後まで誠意を持って授業に取り組むように話をしました。10年後、社会で頑張っている卒業生を期待しています。